

地域活動充実支援事業

(手柄地区)

No. 13 2021.5

手柄地区において、行政と地域がともに考え行動していく地域活動充実支援事業についてお知らせします。

第14回「もっとよく知ろう手柄」ミーティング

会議概要

日時	場所
令和3年5月30日(日) 13:30~15:00	姫路市立手柄公民館 2階会議室

出席者(順不同) 自治会長、地域活動団体関係者等約30名と姫路市より4名

議題

- ・現在取り組み中の山田地区活性化事例(副題:手柄小校区の特徴・風土等)

講師 元手柄小学校長 上田 倫範 氏

議事内容/結果

1 開会

高澤会長挨拶

- ・緊急事態宣言中にお集まりいただき申し訳ないが、この会が開催できることをうれしく思う。新型コロナウイルス感染防止のため、この場での飲食はしないようお願いする。
- ・この会も14回目になったが、「地域活動充実支援事業」という名前が堅すぎて参加する気にならないとの声もあったので、今回から「もっとよく知ろう手柄」という名前を付けることにした。また、取り組みをより進めるため、今年度は市から、市民活動に精通しているアドバイザーを付けてもらうことになった。令和4年度以降は自立して活動を継続していけるようになりたい。
- ・手柄山の桜が5月13日に「手柄ザクラ」の名称で日本園芸品種として認定された。地域にとって明るいニュースだ。本日は手柄ザクラの認定に向けて中心となった兵庫県立大学の熊谷教授や、いま会場で流れていた「TEGARA ROMAN」を作詞作曲された山田先生も来られている。
- ・本日は、活動グループの一つである「手柄山を楽しむ会」が企画した内容として、元手柄小学校長の上田先生に講話いただくが、その前に熊谷教授から一言お話しをいただきたい。

2 兵庫県立大学熊谷教授から

第1回目のミーティングの時「手柄には桜の珍しい品種があり、手柄にとどまらず姫路の宝になるだろう。」と話したが、この度、32番目の新品種として認定された。来年5月に「全国花のまちづくり姫路大会」が開催されるが、手柄ザクラと市蝶であるジャコウアゲハを組み合わせ、姫路城だけでない「姫路」をアピールできればと考えている。

3 講話「現在取り組み中の山田地区活性化事例」

小学3年生の昆虫教材としてモンシロチョウを使うことが多いが、実はジャコウアゲハのほうが教材として適している。約10年前には、ジャコウアゲハに興味がある方々と「ジャコウアゲハが飛び交う街姫路連絡協議会」を立ち上げ、ジャコウアゲハや幼虫の食草であるウマノスズクサの勉強、育成等の取り組みを通じ、まちづくりにもつなげている。ジャコウアゲハを勉強した子どもたちが親世代になり、その子どもたちもジャコウアゲハで勉強する、という流れを作り、市民にも文化として浸透する期間として、20年はこの活動を続けたい。来年の「全国花のまちづくり姫路大会」では駅前にジャコウアゲハが飛び交うおもてなしができたらと思っている。

手柄小学校にある楓（フウ）の木は紅葉がきれいだが、日本では珍しいので大切にしてほしい。

姫路市の北東部に位置する山田地区は7つの自治会があるが、私はそのうちの1つ、世帯数60余で構成する単位の自治会長を務めている。皆さんの協力を条件に6年前に就任し、少しでも人のためになったらいいかな、という思いで続けている。山田は姫路市の中では自然が豊かな地区なので、その自然を残していきたい。地域では桜の植樹にも取り組んでおり、入学や卒業などの節目に記念樹として植えれば大切にしてくれるのではと思っている。また、山田地区は後藤又兵衛ゆかりの地なので、「又兵衛桜」による町おこしをしたいと考えている。奈良県宇陀市にある樹齢300年の又兵衛桜（瀧桜）の枝を分けてもらおうと頼み断られたが、諦めず別ルートで何年にもわたり頼んでいたら、枝は無理だが種なら可能との返事を得た。15粒の種をもらい、自宅、友人宅、農業振興センターでそれぞれ発芽を試みたところ、4粒が発芽したので、先日新聞記事にしてもらった。スイカの栽培にも挑戦しており、全農の友人からの情報を得て奈良県のおいしい品種の苗を入手し、町内の有志の間で誰が一番おいしいスイカを作れるか、食べ比べて情報交換をし、楽しみながら競い合っている。軽トラ市やそれに合わせたバザーもやってみた。

皆さんがこうしたい、こうありたいと思う手柄にしていければ良いと思う。

4 まとめ（姫路市市民活動推進課）

今日の楽しい講話の中にも、地域活動を進める上でのヒントがあったのではないか。又兵衛桜にしてもスイカにしても、人と自発的につながり、輪が広がっている。生き生きと講話される上田先生を見て、楽しむということは大事で、エネルギーが出てくるんだなと感じた。

手柄公民館が改修工事に伴い休館するため、この会は来月以降、総合福祉会館等で開催される。名前も新たになった本会へ、引き続き地域の皆さんの自発的な参加を促していただきたいと思う。

5 閉会（会長）

上田先生の地域に対する愛と情熱とフットワークの軽さに、力をいただいた気がする。次回は会場が変わるので、お間違えのないようお越しいただきたい。

次回 令和3年6月27日（日） 13時30分から 姫路市総合福祉会館

内容：「社協手柄支部総会」及び「少地域福祉活動計画の発表」

（副題 支部選択事業及び社協支部運営助成金について）

説明：社会福祉法人 姫路市社会福祉協議会